

2012 年 9 月 25 日

富士ゼロックス株式会社

マネージド・プリント・サービス(MPS)の 国内市場シェアで富士ゼロックスがNO.1 に

—— 2011 年国内 MPS 市場でシェア 64.4%獲得(IDC Japan 調査より) ——

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社(本社:東京都港区、社長: 山本 忠人)は、IT 専門調査会社 IDC Japan 株式会社が発表した「国内マネージドプリントサービス市場 2011 年の分析と 2012 年～2016 年の予測: 国内市場への浸透と各ベンダーのアプローチに関する考察」^{注1}において、2011 年の国内マネージド・プリント・サービス(MPS)市場における売上規模でシェア No.1 (64.4%) を獲得しました。

IDC Japan 株式会社の発表によると、2011 年の国内 MPS 市場規模は 295 億 2000 万円で対前年 19.3%の増加となっており、2011 年～2016 年における年間平均成長率(CAGR)は 15.5%と、堅調な成長が期待されると予測しています。

また、IDC Japan 株式会社は同レポートで「MPS 提供には、ユーザー企業の出力環境を最適な状態に維持するサービス運用力、その運用を効率的に行うための設計力といった総合的サービス提供能力が重要である」としています。

富士ゼロックスは 2007 年以降、ドキュメント・アウトソーシング・サービスを本格展開、オフィスの出力環境を最適化し、運用管理を請け負うマネージド・プリント・サービス「XOS」を提供しています。リーンシックスシグマ手法^{注2}による徹底した業務分析を実施し、具体的なデータと調査結果に基づく改善策の提案、MPS 導入計画策定、導入、運用の徹底、継続的な改善まで一貫して行い、お客様の課題解決に貢献します。サービス事業で先行する米国ゼロックス・コーポレーションと連携して、TCO 削減、生産性向上、ガバナンス強化など様々な価値をワールドワイドに提供し、お客様より高い信頼を得ております。

2011 年には従来のマネージド・プリント・サービスの対象範囲を広げた「エンタープライズ・プリント・サービス(EPS)」を日本およびアジア・パシフィック地域にて提供開始、オフィスにとどまらず、集中出力センターやモバイル環境をも含む企業全体の出力環境を包括的にマネジメントするサービスに進化させ、サービス提供をより加速しています。

当社は、お客様の経営課題解決を支援するパートナーとして、今後ともより質の高いドキュメント・アウトソーシング・サービスを提供してまいります。

^{注1} IDC Japan, 2012 年 8 月「国内マネージドプリントサービス市場 2011 年の分析と 2012 年～2016 年の予測: 国内市場への浸透と各ベンダーのアプローチに関する考察」(J12561001)

^{注2} 徹底してムダを排除し、オペレーションを合理化する「リーン生産方式」と、バラツキの少ないビジネスプロセスを確立する経営手法「シックスシグマ」を組み合わせた経営品質管理手法。